

MEKONGDELTA  
AND  
DELTA FORCE  
2012

ADULT  
only!!

*Glass Cat's*



MEKONGDELTA  
AND  
DELTA FORCE  
2012

ADULT  
only!!

*Glass Cat's*

MEKONGDELTA  
&  
DELTA FORCE

2012

project "kuroneko -X"

ZENKI & ROUTE39  
presents



コンニチワ  
ぜんき & ROUTE39 です。

黒猫だよ！！  
メガネだよ！！  
メガネコだよ！！！！

やっと黒猫のラブい本ですよっ！奥さん！！  
あー、全然放映中どころか今更なカンジですが、  
ずっと出したかったんですよ～。

ドイヒーな本は何回か出しましたが……

やっぱラブですよ、ラブ！！  
やっと出せたよ、母さん！！

とゆうわけでまた後ほど！！！！

今日の黒猫は  
いつもと少し  
違っている。

いや、イタいといえ  
ばイタいんだが――

そのへんはいつも通りで  
とくに問題じゃなくて

いや、いつもに増して  
イタい、とかじゃなくて。

なんというかその――

イヤむしろ俺としては  
まことにうれしい  
かぎりではあるのだが

今日の黒猫は――

眼鏡をかけているのだ。



外で会った時には別に眼鏡なんかかけちゃいなかったのだがー

俺の部屋に入るなりカバンをゴソゴソし始めたと思ったらいきなりコレなのだ

確かコイツ視力は悪くなかったと思うのだが…

今まで眼鏡なんぞかけてる所見たことないし。

…眼鏡…

…これは…何かの御褒美ですか？黒猫さん…

さっきから…

さっきから何かしら？モゾモゾと気持ち悪いのだけれど…

いや、その…

…ソレはー  
なんででしょうか？

『ソレ』じゃ  
わからないわ

あー、その…  
…眼鏡…  
なんですがね…  
ソレはその…  
一体…



『ザラキエルの鍵』  
という魔装具よ

フア

サウ



…これのことかしらね？

ふふふ…これはね…



へ、鍵？

メガネじゃねーのソレ？

…名前よ。

そういう名前なの



闇の眷属たる我が  
これを身につける  
ことにより  
墮天使の司る  
月光の霊力を受けてー

生命の生殺与奪の  
神祕を看取することを  
認許された存在として  
顕現し…

ブツ ブツ

フフフ…

ブツ ブツ



ーつまりあなたの  
邪な精神が透けて  
見えるのよ

ピシッ！

はー、  
そうですか…



俺の「邪な精神が透けて見える」だと？

—そんなことよりもお前はその意味をわかっているのか？

よりもよって俺の部屋で眼鏡をかけるというコトの、その意味を—

そんなことしたら、ただでさえ可愛いお前がメガカワイくなっちゃうじゃねえかつ！

こんな状況に自ら持ち込むなんて、お前はとんでもない過ちを犯しちゃったぜ—

言つとくが俺は『眼鏡をかけてりや犬でもオツケー』な男だぜ？

…いや、麻奈美は別だが…って、この件は今置いておこうぜ兄弟。

ともかく、だ—

お前はとんだ「罪作りの女」だぜ

これはもう、責任をとってもらうしかたのないことだな…

な、何をブツブツと考えているのかしら？



何を考えているのかしら、  
と聞いているのだけれど？

あ、あなたの事だから  
どうせ邪でろくでもない  
こと考えていたに  
決まっているけれど――

どんな邪な考えかは  
こ、この「鍵」を通せば  
い、一目瞭然だわ！

じー~~~~

し、しまっ…た…  
私とした…ことが…

ど、どうした黒猫？

まさか…  
あなたの欲望が…  
こんな…





…こ、この醜く膨れ上がったこの肉塊を使って、わ、わたしにどんな欲望を抱いていたというのかしら？



それに…匂いが…

これが…  
…先輩の…匂い…

ビク、  
ビク…



こんな…熱い…

まじまじ

近づいただけで熱を感じるなんて…



おい…黒猫大丈夫か？

闇の…いえ、  
獣の匂いがするわ…

おぞましい程の  
暗黒瘴気を放っている…



つか、その…  
あんま見られると…  
恥ずかしいん  
だけど…

…こんなにも破廉恥な雄のくせに、羞恥心だけは一人前なのね

そりゃあ俺だってこうマジマジと人に見られるのは初めてだし…

それに…なんつーか…

お前に見られる、つてのが…な

ビクン ビクン

—こ、こんなにはしたなく大きくして…

いつからこんなにしてるのかしら？

…あー…それは…だな…

なによ？はつきりと言ってごらんさい

お前と会ってる時はいつも—  
—こうなんだ

なっツ

なっ…な…

いや、前はこうじゃなかったんだけどな

なんかお前と付き合いだしてからこう、側にいて気配を間近に感じたりすると—  
—起っちゃうんだよ。

カアアアアアア

へ、へへへツツ、  
ヘンタイっつ!

別に変態じゃ  
ねえよっ!

……っと思っ……

……の、脳が湧いてるの  
かしら?

だってお前、  
カワイイし

っつか美人  
だし……な

ばっ!

なっ、なっ……?

それが俺の彼女で、  
毎日会って、  
っただけでもこれが現実なのか  
よくわかんなくなるんだぜ……

そんないわば現実離れた  
感覚の中で、ふとお前の  
匂いを感じたりするとさ、  
こう……

ドキドキして……な……

こう……  
ムクムク……と  
——な?

——……黒猫?

わ……

私だつて……あなたの匂いをかぐと……

……なるわ——



……濡れるのか？

バッ！  
違うわよっ！  
莫迦っ！

ド、ドキドキするって  
言ってるのよっ！

莫迦っ！

莫迦っ！

……俺……さ、  
今も……ドキドキ  
してるよ——



ホントに卑怯……  
……だわ……



……莫迦……  
……そんなの卑怯よ……

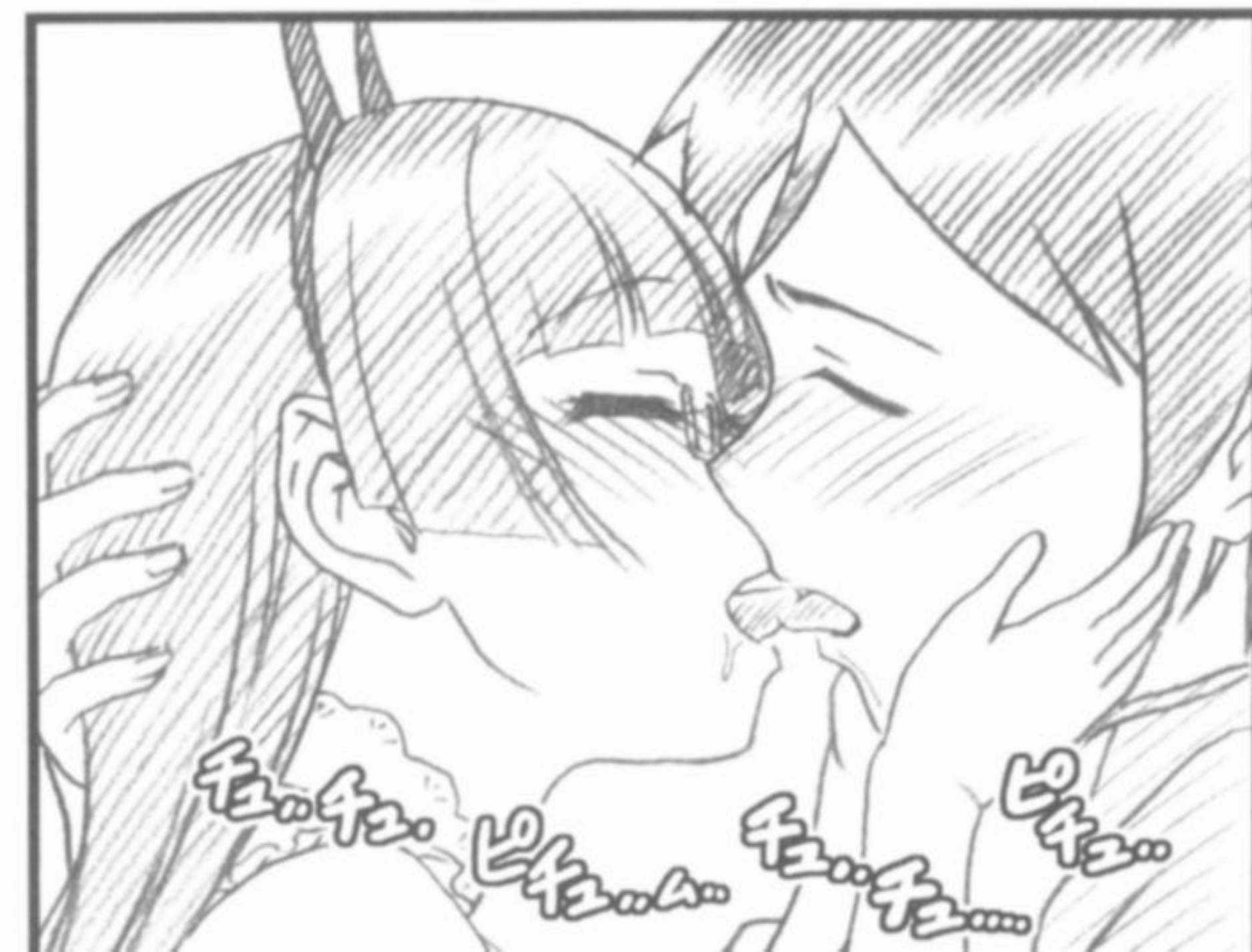


お前がこんなにもそばに感じられるし……

お前の感触が……その……  
すごく気持ちいいんだ……









…この禍々しい  
邪悪な想念の塊から、  
溢れ出る浅ましい  
欲求を感じるわ





これは…私に…  
く、口で愛撫させたい  
と考えているのね

あ、あなたはまず…舌で  
先端に走る雫を  
すくい取らせたいと  
思っているわね



くっく…!

ぬ…るん!



うっ…

ん…



こんな…ふうじに…



れる…



そして、  
舌全体で  
何度も  
舐め上げ  
させたいと  
思っ  
ている…

キュ…



次は...唇で  
この節くれ立った  
肉塊をしごくように  
上下させたいのね？





まだ、足りない、  
なんて...どれだけ貪欲な  
ケダモノなのかしら...

ぬちっ!



く、黒猫ツ!  
も、もうやめろ!

そ、それ以上は...  
ちよつと...!!



歯が...当たって!

刺激...が...  
強すぎるっつ!  
も...ヤメ...てっ!



うあああつっ!







あ、あなたの部屋で  
あなたの匂いに  
つ、包まれただけで—

濡れてしまっていたのよ。

ホ

ム!!!

そうか

言ってくれて  
うれしいよ。

だから...

ご褒美あげなくちゃな

クワ...

カアアア..





ごっ…褒美、とか…  
…い、いからっ…!!



やつ、そん…な…

かあ。あ。あっ!



どうだ、  
気持ち良いか?



そんなこ…とっ!

んんっ!



あ、あっ…あ、  
ひあ、ああっ…!!



駄目って、  
何がだ？



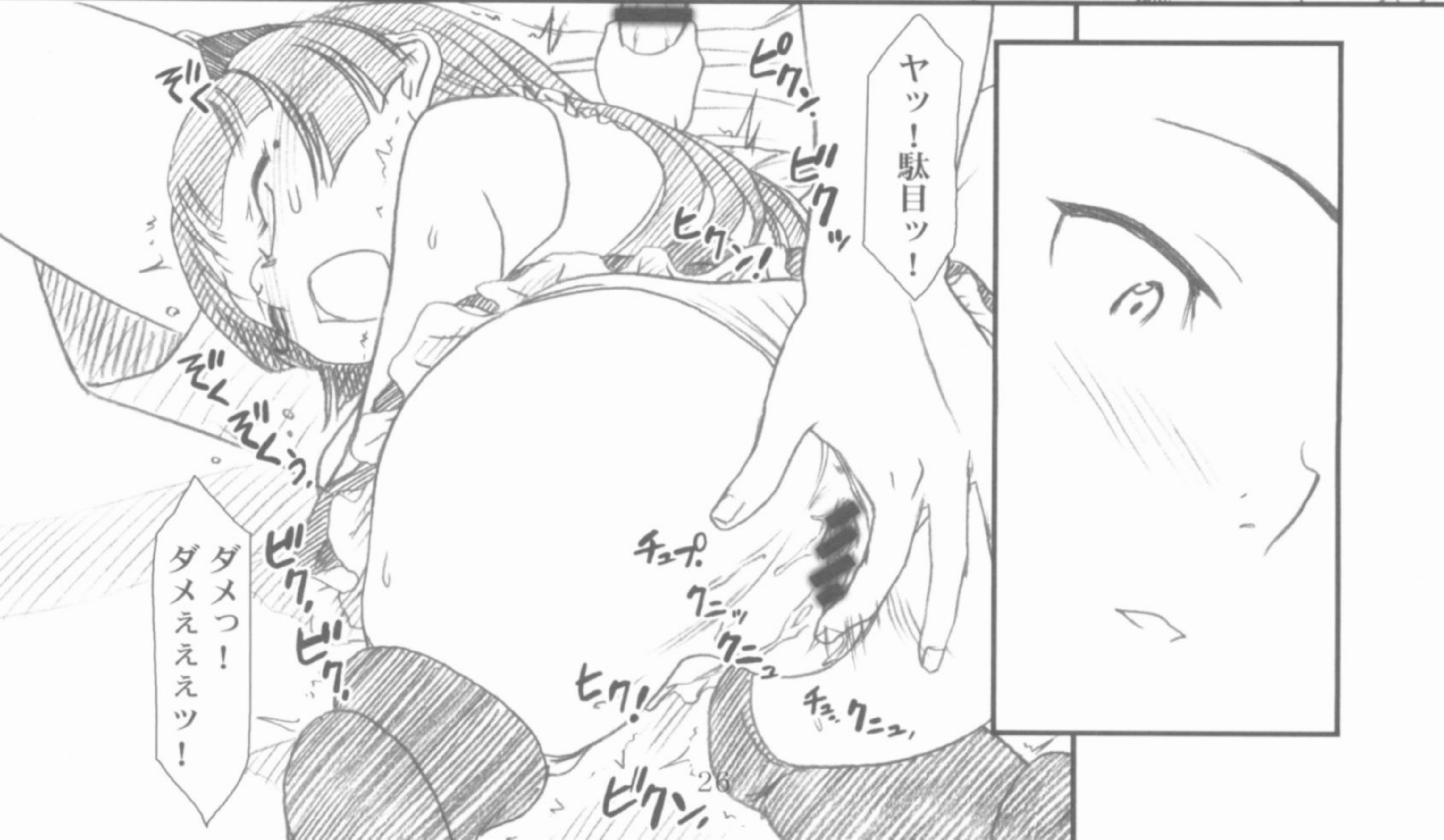
…ダメ…  
…ダメ…メエ…ツ！

ぶるぶる

ぞくぞく



らっ…で、  
まだ、貴方…  
イってない、  
のに…っ！



ヤッ！駄目ッ！

ダメっ！  
ダメえええッ！



黒猫…いいのか？

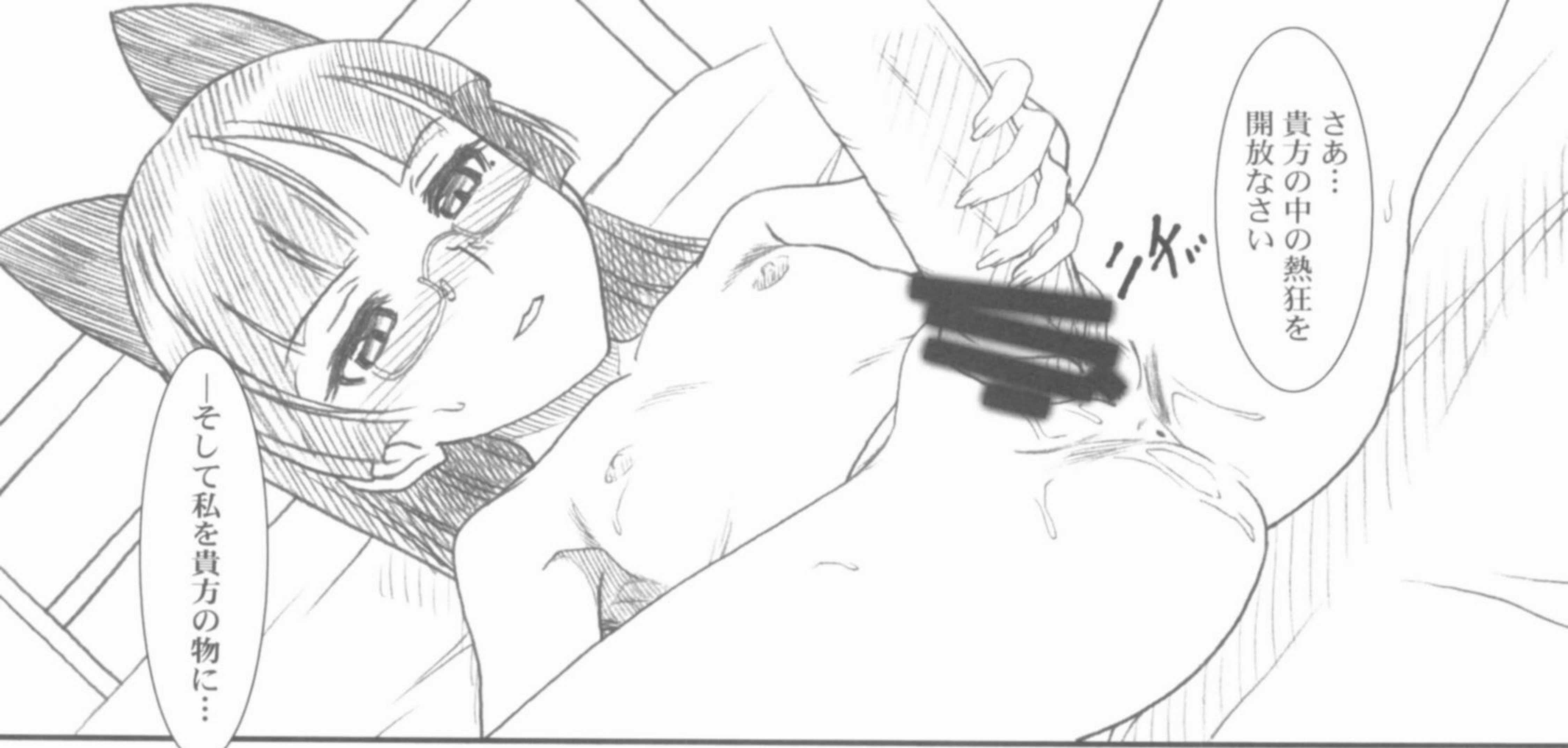
…貴方が  
欲望のままに私と  
契約をかわすのだと  
しても—

ギョッ

今の私はそれに抗う  
術を持ちはしないわ

…でもそれが—

それが今の私の…  
望みでもあるわ



さあ…  
貴方の中の熱狂を  
開放なさい

—そして私を貴方の物に…



は…は…

あ…あ…っ！



んっ…！  
あ…はっ！



！！



あ…あ…

ひあっ！

んっ…あっ！

ぎ…ぎち…ち…ぎち



は…あッ！

んあッ！

ギ…チッ…！



この程度の苦痛など、  
闇の炎に身を焦がしてきた  
私にとつてはとるに  
足りない痛みだわ…

ヒク

ヒク

こや、でも…

…今日はもう…  
やめないか？

何を解らない事を  
言っているの？

ここまでしておいて、  
今更それはないわね

…私がこんな目に  
あつても耐えている  
のだから—

貴方はせめて  
私の身体で  
気持ち良く  
なりなさい。

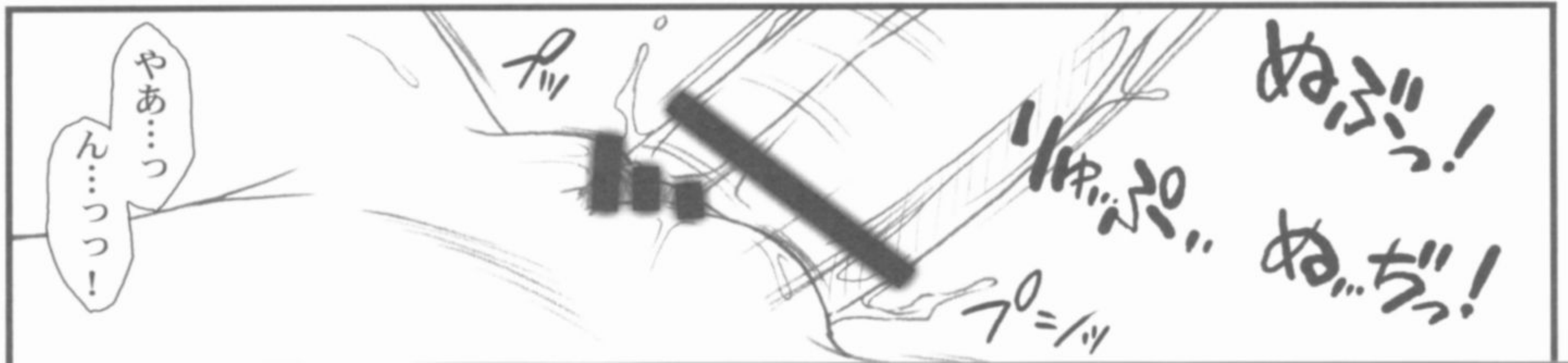
これは—命令よ

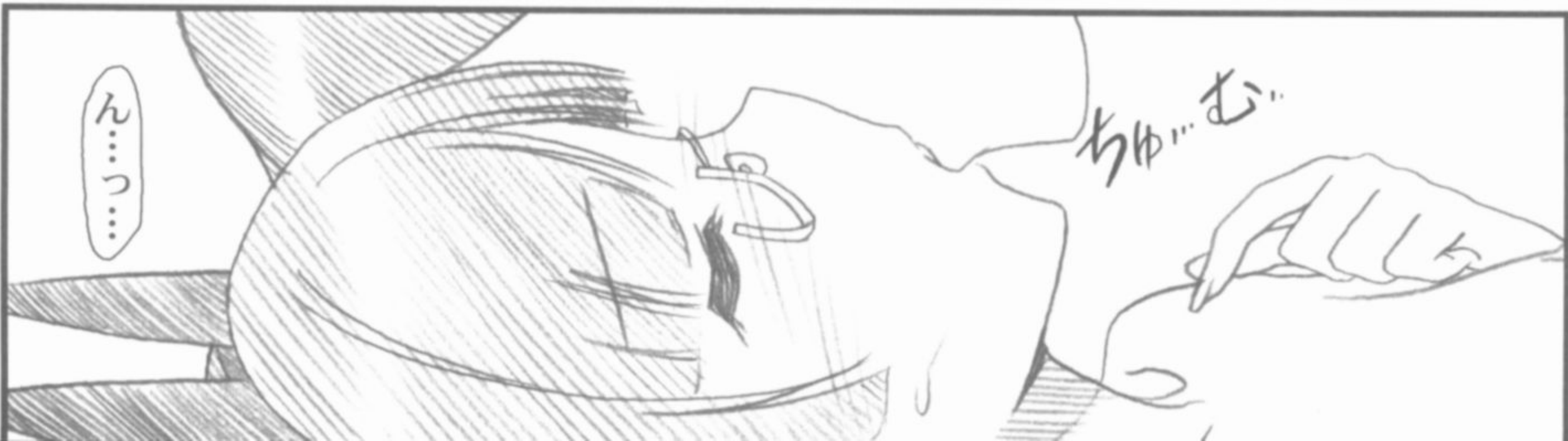
………

…わかったよ  
黒猫…

ギョ

す…









奥から何か...熱い...  
ものが...溢れて...くる...

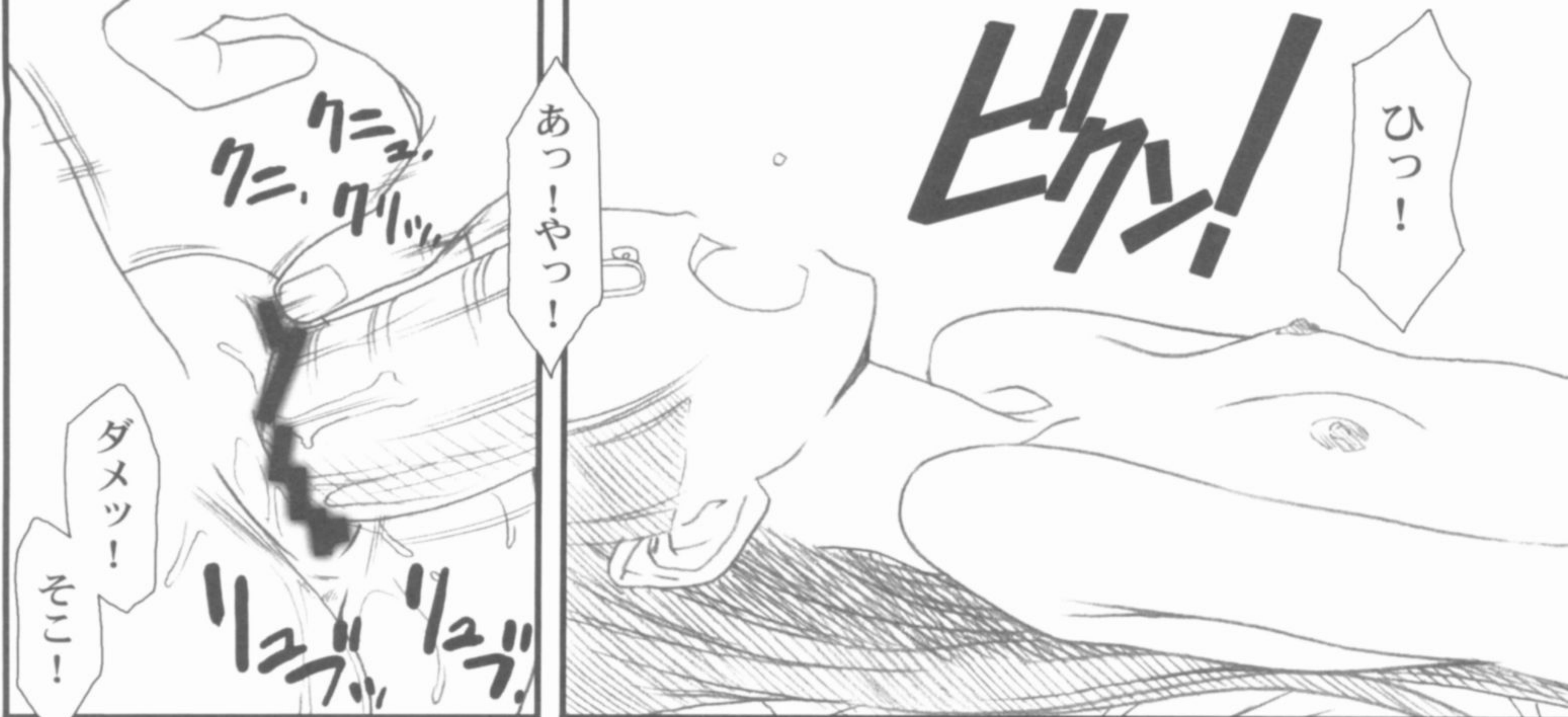
先輩の...触れる...唇の熱...  
指先...身体...全体に  
拡がって...

先輩の...リズムで...  
...波が...走る...うつつ...!

ウソ...こんなに...  
気持ち...いっつ...!

んっ...!





あつーやつ!

はっ!

ダメッ!

そこ!

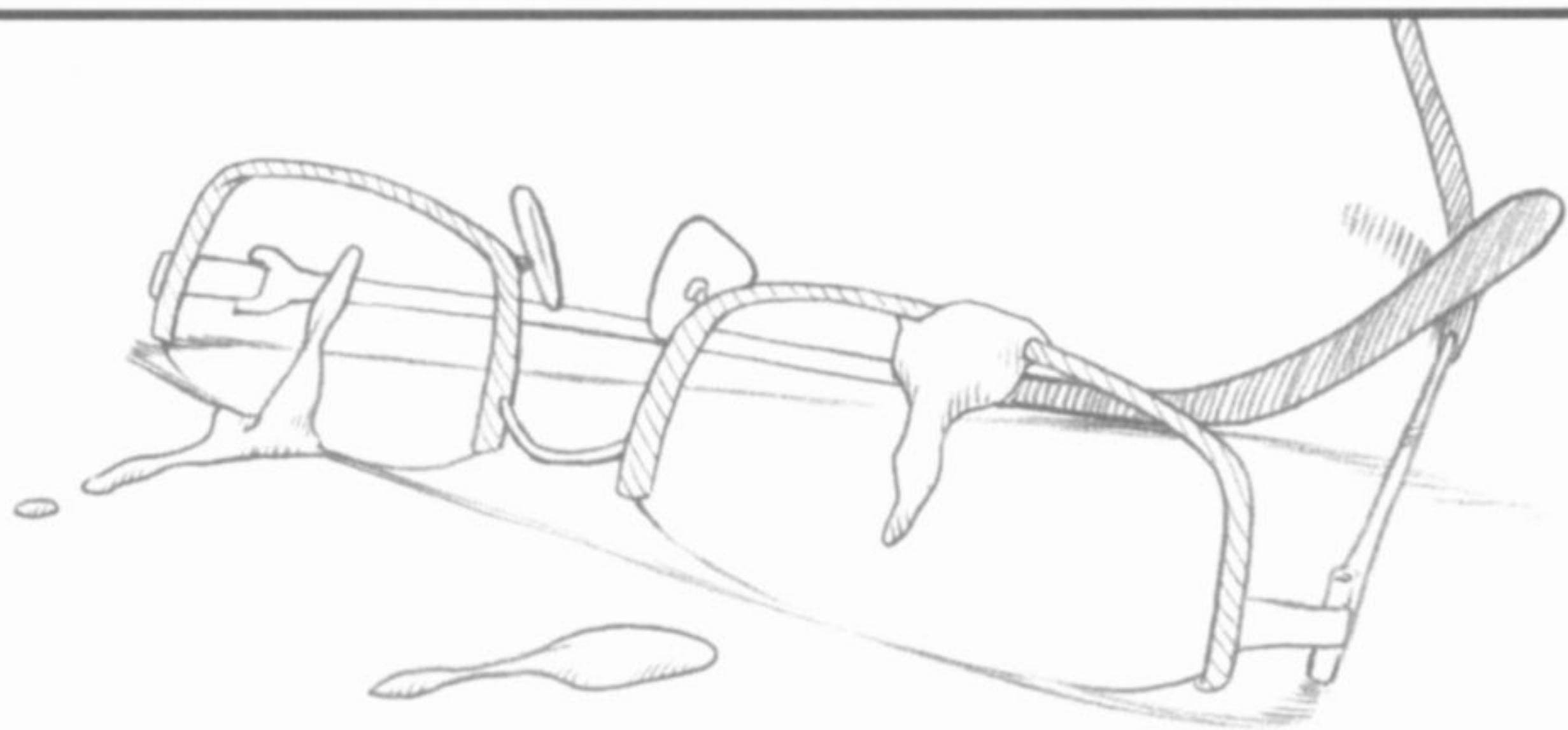
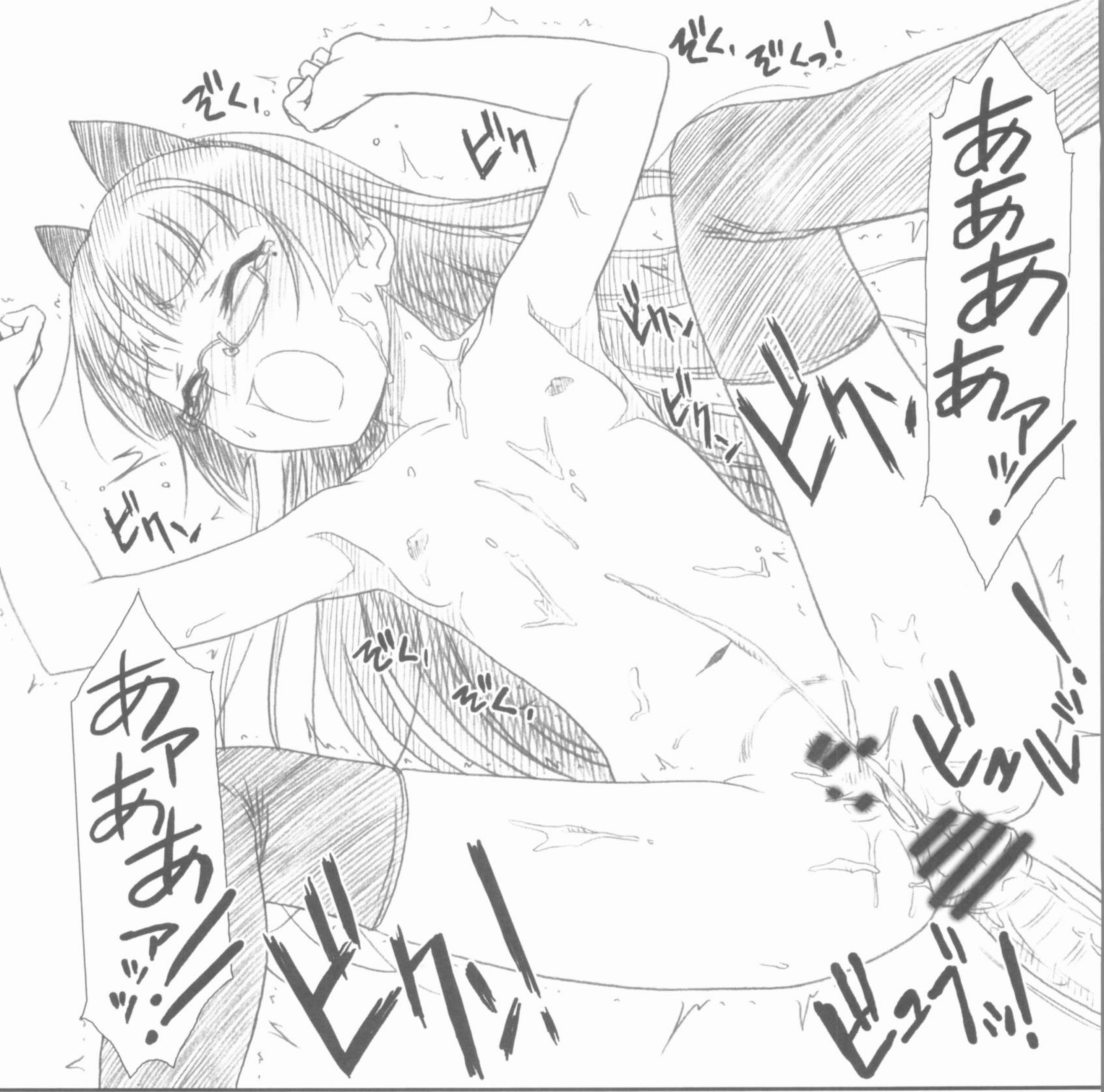


ダメエッ!



イヤッ!

あつあつ



メガネツツ!!!

というわけで、今回はそんなカンジで!!

もっと黒猫をカワイク描きたいですよ…?  
なんか絵が安定しないのです……

とはいえ黒猫はまだまだ描きたいのでまた本作りますよ?  
……ラブラブもね♪♪  
………ドイヒーもね…

あ!  
しまったっ!!  
ノースリーブのワキからピミョウに見える  
ちっばいを描き逃したっ!!

あ~~~~あ~~~~あ~

……次回は必ず。  
…夏にやれるかな…?  
やりたいな。

それでは今回はこのあたりで~。  
ではでは~。

「Grass cat`s」

2012/04/30

MEKONGDELTA & DELTAFORCE

構成・作画：ROUTE39  
構成・編集：ぜんき  
超協力：ほっけうるふ様  
なめキング様

ありがとうございました～。

[http://homepage2.nifty.com  
/delta3/mekong/index.html](http://homepage2.nifty.com/delta3/mekong/index.html)  
e-mail: delta3@nifty.ne.jp (代理)

印刷：緑陽社

18才未満の閲覧・購入は禁止  
無断複製・複写・転載等も禁止  
ネット掲載は特にやめて下さいネ…